



新発想ワイヤーネット・フィルム。
ハイメッシュの活用法を広げる
“モアレゾ”でBtoC市場を開拓。



株式会社網専

581-0039 八尾市太田新町9-25-2
Tel 072-920-1878
http://amisen.jp/



幾何学模様が目をひくモアレゾ・ディスプレイ

「何ですか？これは！」ある設計士の一言から株式会社網専の新規事業ははじまりました。彼が見つけたのは、2枚の金網が重なってできるモアレという幾何学模様。見る角度によって模様が変わります。「金網屋には当たり前の現象で、面白くもなるともないんですが、見る人が見ると違うんですね」と田中康夫社長は笑います。これをヒントに生まれたのが「ワイヤーネット・フィルム“モアレゾ”」。サイン、ディスプレイ、内装、パーティションなどに活用できるディスプレイシステムです。「うちがつけているのはハイメッシュという超極細の針金を使ったもので、金網というより布のよう

です。これを使って独自商品がつかれないかとずっと考えていました」と田中社長は語ります。「モアレゾ」には、設計事務所や商業施設などから問い合わせが殺到。金網を布や紙のように活用する…固定観念に縛られないフレキシブルな発想が網専のBtoC事業を加速させています。



理念の浸透で、社内ベクトルを統一。
関わる人を幸福にする、
日本一信頼されるめっき屋。



株式会社コダマ

544-0012 大阪市生野区巽西1-9-35
Tel 06-6752-0001
http://www.fm-007.com/

「いらっしゃいませ！」すれ違う度、社員の人たちが気持ちよい笑顔のあいさつをいただきます。この会社が「めっきで機能を創造する」をスローガンに、めっき技術の発展を通じて世界中の人がより快適な生活をおくれる未来社会の実現を目指している株式会社コダマ。6年前、創業者である父から経営を引き継いだ平井益子社長がまず取り組んだのは、経営理念「コダマ宣言」の作成でした。ビジョンである「日本一信頼されるめっき屋になるための理念であり、行動指針です」と平井社長。浸透を図るために毎日、全員参加の朝礼で唱和が続けられています。また新卒採用や4つの委



員会の設定を実施してバックアップしています。さらに今年度からは「明日もやっтарろう会」という月に一度の部署を横断した懇親会も開始。「コダマ宣言」が根づくことで、社員間に家族のような絆が生まれています。「みんなが同じ方向を目指して進んでいます」と平井社長。理念の浸透で組織に機能を創造しています。



「育てる」視点のグローバル。
実習生受け入れからはじまったベトナム進出。

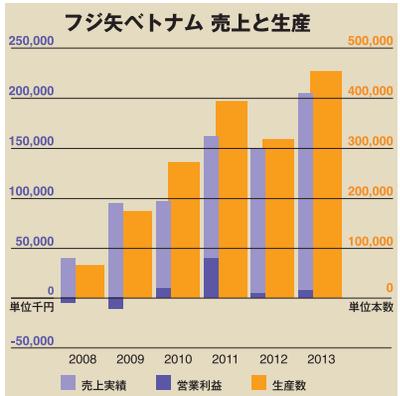


フジ矢株式会社

578-0922 東大阪市松原2-6-32
Tel 072-963-0851
http://www.fujiya-kk.com/



「海外から実習生を受け入れて職人を育てるのもひとつのグローバル化」と考えてベトナム人の受け入れをはじめたのが2002年。2007年には、育成してきた人たちを登用してレンタル工場ながらベトナムに進出しました。海外進出する前に現地の人を受け入れ育てる…これは一般的な海外進出とは逆のプロセス。「委託工場ではなく自社工場をつくりたかったから、まずは日本でベトナム人と働いてみたのです」と野崎恭伸社長。2012年には自社工場を建設し、今では7名の元実習生を中心に100名のベトナム人たちが働いています。同年に現地販売もスタート。売上も着実に伸びています。「コストの安いところを探して世界を放浪する遊牧民のようなグローバル展開はしたくないので、現地市場を育てる“地産地消”の活動がしたかったんです」と野崎社長。プロから一目置かれる工具総合メーカー・フジ矢株式会社は地にしっかり根を張ったグローバル展開をしています。



酸素含有率0%へのこだわり。
先端化学で、しっとり感と安全性を極める石鹸製造。

マイティ

マイティ株式会社

577-0816 東大阪市友井5-4-21
Tel&Fax 06-6724-5278
http://www.mutenkasekken.jp/



しっとりしたピアノ曲が流れる中、先端化学を応用した無添加石鹸が女性スタッフたちのていねいな手作業でつくられていきます。ここは、創業以来、30年以上にわたって100%植物油使用のオールベジタブル石鹸など無添加石鹸一筋に事業を展開しているマイティ株式会社の製造工場。「幼い頃から化学を遊びにして楽しんできました」と寺田幸夫社長は笑います。ここ数年、彼が注力してきたのは酸素含有率0%の環境での石鹸づくり。臭いや濁りなどの原因となる酸素を除去すれば高品質を長く保持することができます。そこで、高濃度窒素を注入できる製造機器を独自開発。今年

度ついに商品化を実現しました。自社の開発力アップと人材育成を兼ねて産学連携を推進。5年ほど前から学生の受け入れを続けています。次の目標は、水素ガスで原料を酸化還元する製法の確立。ものづくり、機器づくり、人づくりを総力して、酸素含有率0%へのチャレンジは続いていきます。



アナログハートでボトムアップ組織に。
人が持つ能力を育て伸ばすことで自立した組織を育成。



株式会社恒和プロダクト

577-0016 東大阪市長田西4-2-38
Tel 06-6744-7071
http://www.kowa-dtp.com/



社屋の至る所に貼られたポスターには全社員のマニフェストを記載。ほぼ隔月で刊行される社内報にはマニフェストの振り返りや社内のトピックスなどが盛りだくさん。これらはすべて社員の自主制作。恒元直之社長曰く「いずれも社員自らが考えて動いています」。「自ら考え行動する組織」づくりで経営活性化を図っている株式会社恒和プロダクト。企画・制作から印刷・加工、ロジスティクスまで、印刷サービスを一貫体制で提供する企業です。「印刷業界はデジタル化が著しい業態です。だからこそアナログハート、つまり“人が持つ能力”を大切にしていきたい」とも。朝礼やHPに毎月

アップされるスローガンについても社員に任せています。「自らやっている感」がよい仕事を生み、社員を育てます。部署間の交流も盛んになりました」とも。経営者の理念やビジョンを踏まえて社員自らが考えボトムアップを図る…そのアイデア・行動力が企業価値を高めています。



キーワードは「サステイナブル」。
樹脂成形の技術を新素材に活かす新事業を展開。



大和合成株式会社

591-8046 堺市北区東三国ヶ丘町5-1-10
Tel 072-252-1023
http://www.daiwa-pls.co.jp/



持続可能な社会づくりが次代のキーワードになっている中、新事業の開発で社会貢献を目指している企業があります。それが、創業75年の大和合成株式会社。「プラスチックのファーストコールカンパニーを目指す」をスローガンに、プラスチック成形加工をトータルに提供する樹脂成形のコンシェルジュ的な企業です。そんな大和合成が今取り組んでいるのが新素材の成形事業。その一つが樹脂と並ぶ強度と精度を持ちながら再資源化ができる紙を成形することです。現在、エアゾール缶のキャップなどを試作中。また、強度と抗菌性を併せ持つ竹粉末を混ぜた樹脂素材は学童用定規として

再資源化できる紙を成形した試作品

製品化されました。「まだ未知数ですが、75年間のノウハウを活かした新事業で持続可能な社会づくりに貢献したい」と奥野健太郎社長。「次代を見据えた新事業を成功させて100年企業を目指したい」とも。「サステイナブル」をキーワードに、勇気あるチャレンジが日々続けられています。